

講座 10講座(3日間) 講座内容、日程は別記

※所用により受講できない講座については、後日動画を限定配信します。  
但し、フィールドワークについては配信を行いません。

定員 会場受講 60人(予定)

受講料 25,000円 (資料代・フィールドワーク貸切バス代含む)

※人権センターながのの会員は割引がありますので事務局にお問い合わせください。

#### 受講申し込み方法

受講の方はメール又はFAXにて必要事項(名前、住所、所属、連絡先)を記載してお申込みください。

※電話での申込みも可能です。

※尚、後日動画配信を希望される方はメールアドレスを必ず記載してください。

#### 参加申込みと受講料の支払締め切り

2024年7月25日(木)

※締め切り後も対応しますが、できるだけ早くお申込みください。

振込先 八十二銀行県庁内支店 普通預金 597857

NPO法人 人権センターながの

※都合のつく方は来所ください。

禁止事項

- ・録音、録画、それらの私的利用、改変、二次利用、SNS等を用いた中継、ならびに拡散・無断掲載などの行為。
- ・講師など他者への誹謗中傷、名誉毀損に当たる行為、講座を妨害する行為。
- ・動画限定配信のURL、パスワードの第三者への提供や拡散。

☆ 講座のパンフレットはNPO法人人権センターながののホームページ(下記URL)に掲載。

## 地図



お問い合わせ先

特定非営利活動法人(NPO法人)  
人権センターながの

〒380-0928

長野市若里1-19-5 長野市中央隣保館内

TEL 026-225-5045 FAX 026-227-0212

E-mail jinken-nagano@vesta.ocn.ne.jp

URL <http://jinkennagano.com/>

2024年度

# 人権リーダー養成

## 部落問題講座



応え(答え)られる基礎知識を学習しませんか  
単発ではない一貫した部落問題学習(より深く専門的に)

日程

2024年 8月6日(火) ~ 8月8日(木)

会場

長野市若里

長野市中央隣保館

フィールドワークは現地にて

後援

長野県 長野県教育委員会 長野県企業人権教育推進連絡協議会 長野県同和問題企業連絡会

「同和問題」にとりくむ長野県宗教教団連絡会議 部落解放長野県民共闘会議 部落解放・人権政策確立要求長野県実行委員会

部落解放同盟長野県連合会 長野県隣保館連絡協議会 長野県同和教育推進協議会 信州農村開発史研究所

主催

NPO法人 人権センターながの



応え(答え)られる基礎知識を学習しませんか  
単発ではない一貫した部落問題学習(より深く専門的に)

「部落問題とはどんな問題」と聞かれてあなたはどうか答えますか。  
「差別のない社会」とはどんな社会なのでしょう。  
この講座は、日本特有の部落問題、これだけは知っておきたい基礎知識を学習し、リーダーを養成するために開催します。  
全ては『知る』ことから始まります。そして『わかる』こと、実践し広げていくことです。  
そのキーワードは『関係性・創る』です。  
21世紀は人権の時代です。改めて部落問題を学んでみませんか。是非ご参加ください。

## 講座内容

8月6日(火) 10:15 開会

10:15~10:30	主催者あいさつ 事務連絡	
この講座は、「部落問題、これだけは知っておきたい基礎知識」として行ってきましたが、その基礎知識というものを改めて見直す必要があると考えました。部落問題に対する市民意識の入口にある「部落問題って何」「まだあるの」「知るから人は差別してしまうから、知らない方が良いのでは」「誰が部落かを知ること自体が“差別”ではないか」など。わかっているようでいて人から聞かれたら答えられないことが多いのではないのでしょうか。こうした意識の人に向き合ったとき、この入口を理解していないとどんな教育や啓発も届かないのではないかと思います、二つの講座を基礎知識として設定しました。		
第1講 10:30~12:00	「知っていますか 部落問題」一問一答 1 ・部落問題とはなんですか、誰が差別されているのですか ・今でも部落差別はあるのですか ・そっとしておけば自然に差別は無くなるのでは 「知るから人は差別してしまうから、知らない方が良いのでは」 「誰が部落かを知ること自体が“差別”になるのでは」 ・なぜ今も部落差別はなくなるらないのですか ・私は差別していないし、部落問題はあまり身近な問題ではないので…という人にどう接したらいいでしょうか	90分
第2講 13:00~14:30	「知っていますか 部落問題」一問一答 2 ・同和行政(教育)と人権行政(教育)、この二つは違うのですか ・「法」が切れた今でも「同和地区」という言葉を使っていいのでしょうか ・インターネット上での「部落暴き」を踏まえ「部落に関する情報はすべて明らかにしない」という対応でいいのでしょうか ・思いやりの心を育てることが部落差別をはじめすべての差別をなくすいちばんの教育ですと話す学校の先生にどう応じたらいいのでしょうか ・企業、宗教はなぜ部落問題に取り組むのでしょうか	90分
第3講 14:40~15:50	「冬来たりなば」生きてきた軌跡 信州の山村の被差別部落に生まれて幼いころに父と死別、母の手によって育てられ、衣食住の困難な戦前戦後の苦しい時代を生きてきた。貧困に耐え、少年時代に時には母と一緒に馬の臓物の行商にまわり、中学をおえると集団就職で東京に出て働いた。職場を転々、結婚。そして、部落問題との最初の出会いと目覚め、母の葛藤、ショックだった結婚差別。私の生い立ちを中心に、私にとっての部落を語る。部落を名乗って生きてきたことの「誇り」は、どの時代であっても忘れてはいけない。今の時代だからこそ大切だと思う。	70分

## 講座内容

8月7日(水) 10:20~10:30 事務連絡

第4講 10:30~12:00	「近現代日本の忌避／排除／包摂」 従来、部落問題は前近代的な身分制の遺制として説明されてきた。これに対し、近年の歴史研究では、社会の近代化に伴って生み出された様々な差別に関心が注がれている。本講座では、近代化を推進する重要な構成要素である「科学的な知」によって、社会的差別が再構築される様相についてお話しいただく。これをつうじて、近代国家と社会の進歩に向けた人種改良や優生学的な眼差しが、部落問題がいかに再編したかを考察する機会としたい。	90分
第5講 13:00~14:30	「見えない存在として生きる部落ルーツの人たち」 ー自己防衛としての「語らない」という現実ー 「部落を離れて生活する部落にルーツを持つ人」への聞き取りから考えてみたい。自分のルーツをあえて「語らない」行為は単に「隠す」「逃げる」という表現で捉えていいのだろうか。「言わない」という事実に対して「言えない」「言いたくない」「言う必要を感じない」などいくつもの態度がある。「語らない」ことを、生き方を選択する上で重要な「自己防衛のための行為」という視点で考えたい。「見えない存在」として生きる人たちの経験は、名乗らないからこそ見えにくく、その痛みや恐怖が無化されてしまいかねない現実がある。しかし出身地を勝手にインターネット上で暴露などを行う、差別しようと企む者にとっては、すべての部落ルーツの人が排除のターゲットとなり得る。部落の当事者という意識がなかったとしても、差別しようと企む者の介入によって、本人の意図しないところで問題の当事者にならされる。私の問題意識の経緯も触れて報告・提起し、長野県の状況について、現状の振り返りや意見交換をしながら考えたい。	90分
第6講 14:40~16:10	『「1956年頃の信州市民の部落観」慶応大学部落問題研究会の調査から』 『「草津湯宿逃去り一件」における松代藩の「穢多頭孫六」』 「1956年頃の信州市民の部落観」では、戦後あちこちの大学につくられた部落問題研究会の先駆といわれる慶応義塾大学部落問題研究会(1954年結成)の会誌『ブラク』第2号に掲載された根来英子「部落民とよばれる人たちと、いわゆる一般人との間における偏見についての一考察」という論文から、根来が実施した小諸市民へのインタビューからうかがわれる、当時の小諸市民の「部落観」を紹介する。私にとっては驚きの「部落観」であった。「草津湯宿逃去り一件」における松代藩の「穢多頭孫六」では、信州農村開発史研究所紀要『水と村の歴史』第37号に掲載された、一件に関する史料と、史料をめぐる座談会から、この一件がどのような事件で、どのようなことが分かるかを紹介する。松代藩の「穢多頭孫六」一行5人が、草津の湯宿へ偽名で10日余り宿泊し、毎晩のように高額な食事をしながら、その宿泊代・食事代を支払わずに逃亡したというこの一件の真実は…… 最後に、信州の「非人」について、これまでに得られた史料から少し紹介したい。	90分

8月8日(木) 8:30 集合・出欠確認  
8:50 出発 貸切バス 乗車:中央隣保館東側

第7講 9:30~	フィールドワーク(1) フィールドワーク(2)	現地	
第8講 ~11:50 長野市中央隣保館着12:30	説明 証言映像	会場 千曲市人権交流センター	125分
第9講 13:30~15:00	「求めてきたもの 受け継いでいくもの」 長野県水平社創立100年 1.「長野県水平社創立100年」映像上映 2.制作の経過をたどって 3.『地球市民』からさらに歩みだしたもの	野沢 喜代 島田 一生 NPO法人人権センターながの	90分
第10講 15:10~16:00	全体:質疑・意見交換	浅井 誠 NPO法人人権センターながの	50分
16:00~16:10	閉会あいさつ 連絡事項		10分
16:10~	交流会		